

障害者及び高齢者等対応研修詳細

企 画	受講者数	・ 1500 名以上が受講することを想定し企画すること。なお、最低受講者数 900 名以上となるよう努めこと。
	開催数	・ 各回の定員枠を考慮し、開催数を設定すること。同日に複数回開催することも可とする。
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な心構えや具体的な配慮方法など、ボランティアの障害者及び高齢者等に対する理解を促進させる内容とすること。 ・ 車いすを使用したり、高齢者疑似体験を実施するなど、実技により実際にボランティア活動で活用できる内容とすること。 ・ 救命・救急対応として、基礎知識と共に可能な限り受講者が心肺蘇生や自動体外式除細動器（AED）の実技練習を実施できる内容とすること。
	開催時期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約締結日から平成 32 年 1 月 31 日まで ・ ボランティアが参加しやすいよう、開催日時を設定すること。 ・ 休日、平日のバランスを考慮すること。 ・ ラグビーワールドカップ 2019 大会の開始前（平成 31 年 9 月 22 日）に可能な限り実施すること。
	研修時間	・ ボランティアが参加しやすいよう適切に設定すること。
	開催場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都心からアクセスしやすい場所 ・ 場所及び備品の確保、その支払い等は受託者が行うこと。
	研修資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原則として、研修実施にあたり配布資料を作成すること。 ・ 資料の内容について、事前に財団に提出し、確認を得ること。 ・ 確認後、当日の受講者分の資料を印刷し、持参すること。
	アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各研修時の最後にアンケートを実施すること。 ・ アンケートの内容について、事前に財団に提出し、確認を得ること。 ・ 確認後、当日の受講者分のアンケート用紙を印刷し、持参すること。
実 施	研修案内告知文	・ 事前に財団に提出し、承認を得ること。研修案内告知文には、動きやすい服装など、受講にあたり必要となる情報を明記すること。
	受講者管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受講者が開催場所に迷わずたどり着けるよう、開催場所周辺に人員を配置するなど、配慮すること。 ・ 研修開始前に事務連絡として、トイレの位置や体調不良時の対応等を説明すること。 ・ 体調不良の者、遅刻者、早退者について、適切に対応すること。 ・ ボランティアの忘れ物等について、適切に対応すること。